

【問2-1】 芦屋市の環境についてどの程度満足しているかについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。 （「1.満足」、「2.やや満足」と回答した者の割合）		職員			「満足度」の割合において有意な差が認められるもの
		計画策定時 （H26年度）	中間評価 （R1年度）	今回 （R5年度）	
自然環境に関すること					
1	山の緑の豊かさ	77.0%	82.3%	89.1%	▲
2	海辺の環境の良さ	63.3%	68.2%	65.9%	
3	川や池の水辺の環境の良さ	65.8%	67.7%	73.2%	▲
4	野鳥や昆虫などの生き物や植物の種類や数の多さ	45.8%	50.1%	47.6%	
5	山や川、海辺などの自然景観の良さ	70.2%	77.0%	83.9%	▲
6	自然とふれあう場所の多さ	49.5%	60.4%	58.6%	
生活環境に関すること					
7	空気のきれいさ	46.3%	53.3%	56.1%	▲
8	海や川の水のきれいさ（透明度やごみの少なさ等）	－	－	53.9%	
	海のきれいさ（透明度やごみの少なさ等） ※前回までの調査項目	28.5%	30.8%	－	
	川や池の水のきれいさ（透明度やごみの少なさ） ※前回までの調査項目	41.7%	45.5%	－	
9	まちの静けさ	66.0%	74.6%	76.8%	▲
都市環境に関すること					
10	ごみ出しマナーの良さ	38.8%	43.1%	37.2%	
11	まちの清潔さ	68.0%	78.2%	79.2%	▲
12	ポイ捨てごみの少なさ	57.4%	69.5%	68.5%	
13	犬などのペットの糞の後始末マナーの良さ	43.3%	56.1%	50.3%	
14	道路の整備・管理状況や交通の便利さ	55.4%	59.6%	57.5%	
15	公園の整備・管理状況や緑地の多さ	63.9%	70.2%	67.7%	
16	まちなみ（景観）の良さ	77.5%	83.1%	88.5%	▲
17	歴史的・文化的魅力の豊かさ	50.5%	55.8%	68.0%	▲



3回のアンケート調査結果の傾向を比較した場合に、令和5年度の回答結果の傾向に有意な差があると認められたものを示す。

※分析ソフトは「R」を使用し、カイ2乗検定によって算出



80%を超えるもの
上昇しているもの
減少しているもの

【問3】環境を守ることや市の取組に対する考え取組等に対する割合		職員			有意な差 が認めら れるもの
		計画策定時 (H26年度)	中間評価 (R1年度)	今回 (R5年度)	
1) 環境を守ることについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。					
1	環境を守ることが最も大切であり、そのためならライフスタイルを変えたいと思う	4.9%	6.7%	6.3%	
2	環境を守るとは大切であり、可能な範囲でライフスタイルを変えてもよい	67.3%	79.7%	79.5%	
3	環境を守るとは大切だが、ライフスタイルは変えたくない	24.0%	13.3%	13.5%	
4	環境を守る必要はない(環境を守る必要性を感じない)	－	0.0%	0.3%	
	環境を守るために、今のライフスタイルを変える気はない	2.0%	－	－	
5	無回答	1.8%	0.3%	0.3%	
2) 環境を守るために望ましい取組について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。					
1	環境保全を地球規模で考え、行政(国や県)が対策に力を入れるべき	18.6%	26.1%	27.1%	▲
2	環境を守るために、行政(市)・事業者・市民が一体となった取組を進めるべき	57.2%	55.1%	54.3%	
3	地域の特色を生かし、自治会などが中心となって取組を進めるべき	10.2%	6.4%	7.0%	
4	環境を守るには、一人ひとりが個別に取り組むべき	12.1%	11.8%	11.1%	
5	無回答	1.8%	0.6%	0.5%	
3) 芦屋市の「目指す環境の姿」及び「基本方針」を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。					
1	目指す環境の姿や基本目標を知っていて、内容も把握している	7.0%	8.5%	8.5%	
2	環境計画に目標などを示していることは知っている	30.2%	43.9%	33.4%	
3	環境計画があることは知っていたが目標などについては知らない	44.0%	39.3%	43.9%	
4	環境計画があることを知らない	16.9%	7.9%	13.8%	
5	無回答	1.8%	0.4%	0.3%	



▲ 上昇しているもの
▼ 減少しているもの

3回のアンケート調査結果の傾向を比較した場合に、令和5年度の回答結果の傾向に有意な差があると認められたものを示す。
※分析ソフトは「R」を使用し、カイ2乗検定によって算出

【問4-1】あなたの普段の行動に最も近いものを1つ選んでください。 （「1.いつもしている」、「2.できるだけしている」と回答した者の割合）		職員			「いつもしている」 の回答割合に有意 な差が認められる もの
		計画策定時 （H26年度）	中間評価 （R1年度）	今回 （R5年度）	
家の中やその周り					
1	こまめに蛇口を閉める、風呂の残り湯を使うなど水の無駄遣いを防ぐ	83.8%	86.4%	87.6%	
2	不要な電気を消す、使っていない家電のコンセントを抜くなど、節電に取り組む	81.6%	81.6%	85.8%	
3	生ごみを水切りしてから捨てる	78.2%	78.5%	81.6%	
4	自然の風を取り込む、重ね着するなどして、できるだけ冷暖房の利用を減らす	77.3%	70.3%	74.1%	
5	冷暖房や給湯の温度設定は控えめにする	81.4%	76.1%	81.2%	
出かける時					
6	自動車の代わりに徒歩・自転車・公共交通機関を利用する	69.7%	71.2%	78.1%	▲
7	たばこ・空き缶などのポイ捨てや、歩きながらの喫煙をやめる	85.9%	85.9%	84.8%	
	アイドリングストップに取り組む ※前回までの調査項目	50.0%	64.0%	－	
物を買う時					
8	使い捨て製品は買い控える	58.8%	60.3%	63.8%	
9	買い物には、マイバッグを持っていく	60.8%	66.1%	92.1%	▲
10	省エネ製品を選んで買う	71.4%	70.0%	75.1%	
物を捨てる時					
11	使えるものは修理して使う	75.1%	78.6%	79.7%	
12	ごみは決められた方法に従って、分別して捨てる	94.3%	94.0%	96.7%	
13	まだ使えるが不要となったものは、リサイクルショップに出すなど、他の人に使ってもらう	46.6%	56.0%	63.1%	▲
余暇の際					
14	庭やベランダなどで、緑や草花などを育てる	48.1%	43.2%	45.4%	
15	山や海などに行き、自然と触れ合う	50.5%	55.7%	47.1%	▼
16	地域の歴史や歴史資源に関心を持つ	38.3%	41.6%	35.5%	
地域の活動の際					
17	緑化イベント、美化活動など、地域の環境保全活動に参加する	17.8%	22.2%	17.6%	
18	自然観察会・環境体験イベントなどの環境学習活動に参加する	11.2%	18.1%	13.6%	

3回のアンケート調査結果の傾向を比較した場合に、令和5年度の回答結果の傾向に有意な差があると認められたものを示す。

80%を超えるもの
▲ 上昇しているもの
▼ 減少しているもの